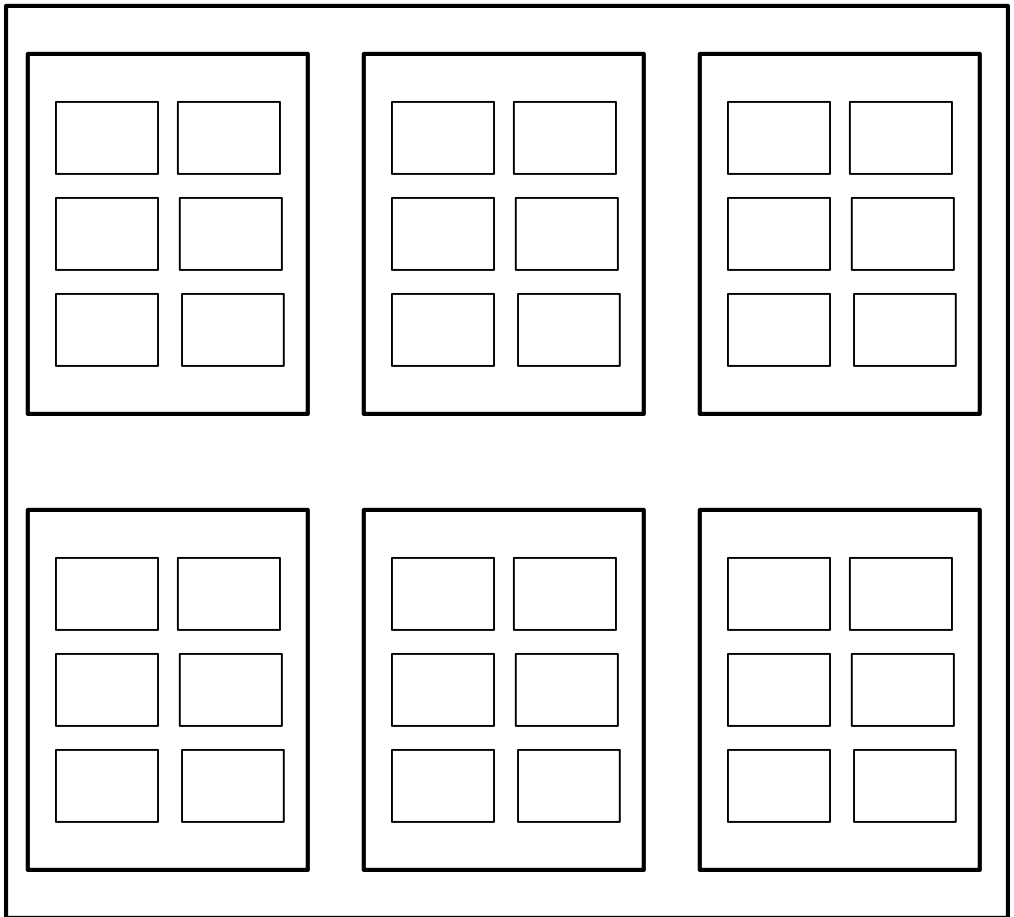


GTB

CIP3 Generator ユーザーズマニュアル



目次

第一章 お使いになる前に

目次	3
1. 動作環境とインストール.....	7
1 - 1. 推奨動作環境.....	7
1 - 2. CIP3 Generator のインストール手順.....	8
2. CIP3 Generator 概要	12
2 - 1. 概要.....	12
3. Windows 基本操作	14
3 - 1. マウスの操作	14
3 - 2. ウィンドウ操作.....	16
3 - 3. リスト操作.....	19
3 - 4. メニュー操作	21

第二章 操作説明

CIP3Generator のオペレーション	25
1. 基本画面.....	25
2. メニュー構成	27
2 - 1. ファイルメニュー	27
2 - 2. 編集メニュー.....	27
2 - 3. 表示メニュー.....	28
2 - 4. ヘルプメニュー	28
3. ダイアログ	29
3 - 1. ホットフォルダ設定.....	29
3 - 1 - 1. 設定ダイアログ.....	29
3 - 1 - 2. ホットフォルダの設定	31
3 - 2. 色版の設定	36
3 - 3. オプションの設定	40

4 . HTML によるログファイルの出力.....	41
5 . トラブルシューティング.....	41

第一章

お使いになる前に

動作環境とインストール

CIP3 Generator 概要

Windows の基本操作

1. 動作環境とインストール

1 - 1. 推奨動作環境

入力フォーマット：TIFF (1ビット)

出力フォーマット：CIP3用 PPF ファイル

コンピュータ本体：Pentium 600MHz以上

メモリ：128MB以上

ハードディスク：20GB以上

OS：WindowsNT サービスパック5以上

：Windows2000

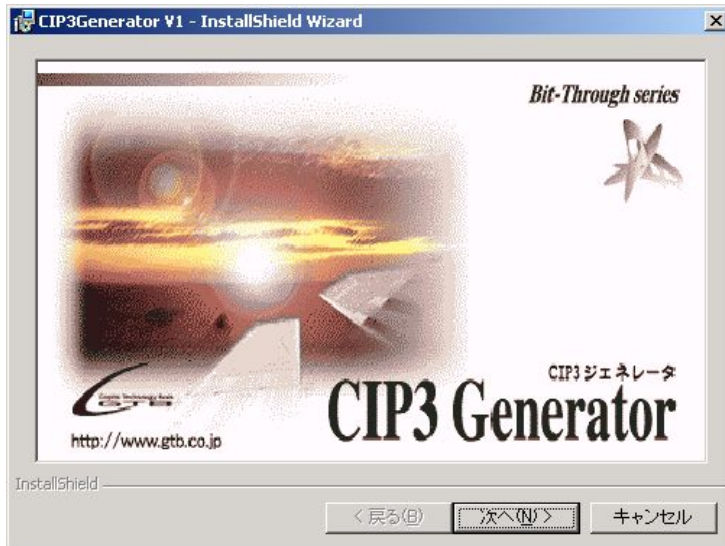
：WindowsXP

1 - 2 . CIP3 Generator のインストール手順

(注意) CIP3 Generator は、起動前にハードウェアキーが接続されている必要がありますので注意して下さい。接続されていない場合は、機能を確認する為のサンプルアプリケーションとなります。



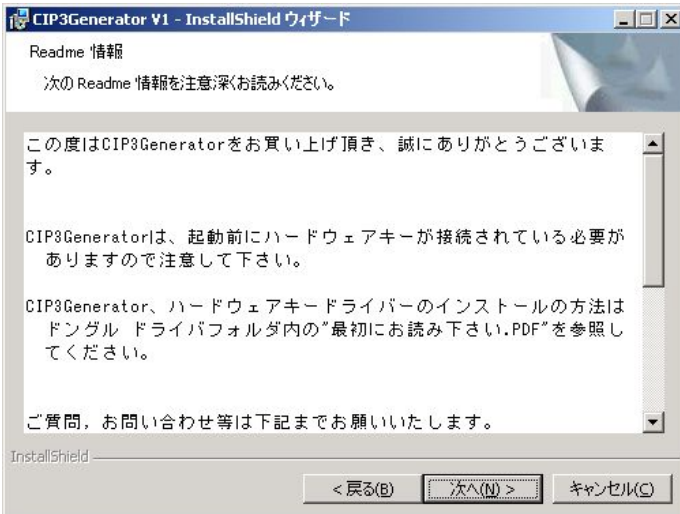
1) C D - R O M内にある「setup.exe」をダブルクリックします。



2) インストールを行う製品のセットアップウィザードが起動しますので「次へ(N)」をクリックします。



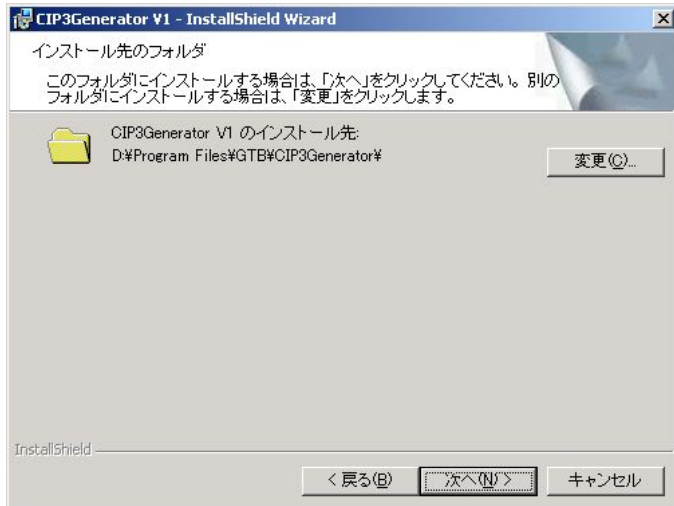
3) 製品の使用許諾が表示されますのでよくお読みください。同意いただいた場合、本製品のインストールが可能となりますので「次へ(N)」をクリックします。



4) インストールにあたっての注意事項と製造元の情報が表示されます、よくお読みの上「次へ(N)」をクリックします。



5) 名前と所属会社名を入力し、「次へ(N)」をクリックします。



6)インストール先のフォルダを指定します。

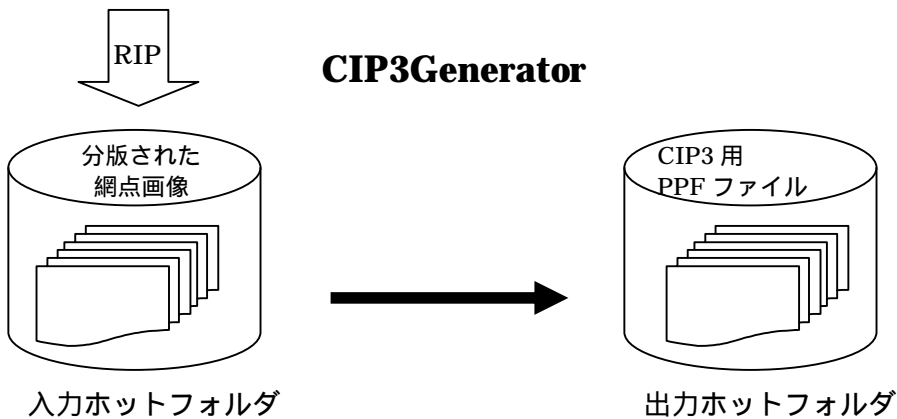
変更する場合は「変更(C)...」をクリックして、パスを直接入力するか、ディレクトリを指定します。「次へ(N)」をクリックするとアプリケーションのインストールを開始します

2 . CIP3 Generator 概要

2 - 1 . 概要

CIP3Generator はバッチ処理で RIP 後の網点画像 (1bitTIFF) から印刷機のインクつぼをコントロールする CIP3 用の PPF ファイルを出力します。

入力フォルダを一定間隔で監視し、新しい網点画像ファイルが入っていれば自動的に PPF ファイルを作成し出力フォルダに保存します。サーバマシンをひとつ用意すれば、複数のクライアントマシンからサーバーの能力を利用して一括処理をおこなえます。

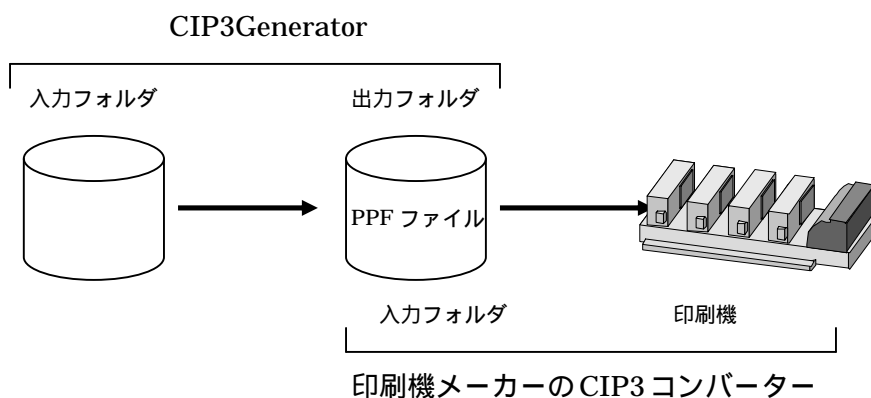


2 - 1 - 1 フォルダセット

監視を行う入力フォルダや処理後の出力フォルダなどフォルダの組み合わせと、印刷機向けの PPF ファイル作成のパラメータ設定をまとめてフォルダセットと呼びます。複数のフォルダセットを設け、対象網点データの版数や印刷機に合わせて異なったホットフォルダを作成できます。

2 - 1 - 2 PPF ファイル

CIP3Generator は印刷機のインキ壺のインキ流量を調整する原データ（PPF ファイル）を作成します。PPF ファイルをそれぞれの印刷機メーカーが提供する CIP3 コンバータに送ると印刷機に対してインキ流量をコントロールする制御データを作成して印刷機にデータを送信します。



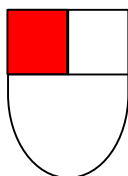
3.Windows 基本操作

3 - 1 . マウスの操作

マウスはコンピュータに指示を与えるための装置です。マウスには右ボタンと左ボタンがあります。マウスの操作には、クリック（左クリックともいいます）、右クリック、ダブルクリック、ドラッグの4種類があります。

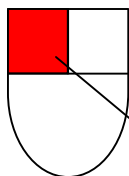
『クリック』

マウスのボタンを1回押してすぐに離すことを、「クリック」といいます。クリックはメニューやボタンを選んだりするときに使います。



『ダブルクリック』

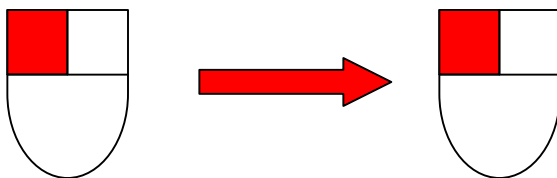
左ボタンをすばやく2回押すことを「ダブルクリック」といいます。ダブルクリックはアプリケーションソフトを起動するときなどに使います。



2回、カチカチと素早くクリック

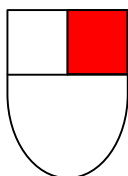
『ドラッグ』

マウスの左ボタンを押したままマウスを動かすことを「ドラッグ」といいます。また、目的の場所までマウスをドラッグした後、マウスのボタンを離すことを「ドロップ」といいます。ドラッグはアイコンやウィンドウの移動や、操作の範囲の選択などに使います。



『右クリック』

マウスの右ボタンを1回押すことを「右クリック」といいます。右クリックは主にメニューを表示させます。

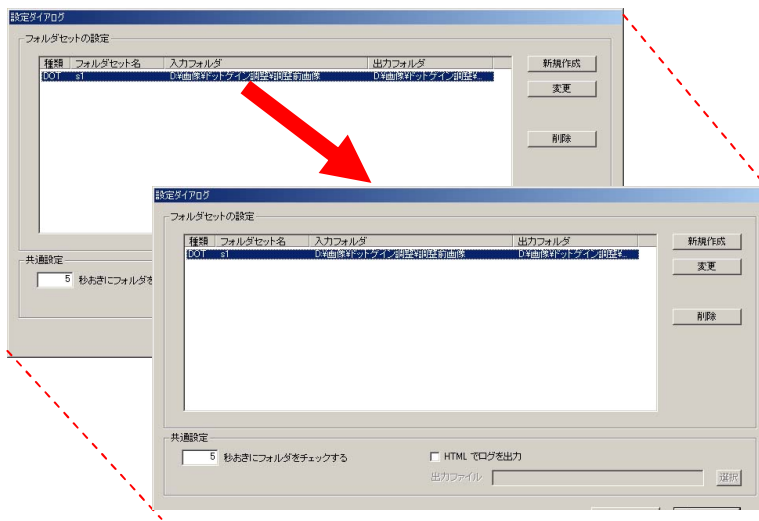


3 - 2 . ウィンドウ操作

ウィンドウは作業を行う仕事場のようなものです。アプリケーションを起動させるとそのアプリケーションのウィンドウが開かれ、作業ができるようになります。ウィンドウは同時にいくつも開くことができるので、複数の作業を同時進行で行うことができます。

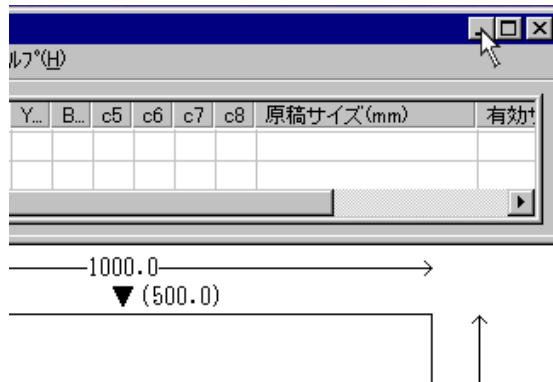
『ウィンドウを移動する』

ウィンドウを移動するときには、そのウィンドウのタイトルバーをドラッグします。移動させた位置まできたら、マウスのボタンを離します。ウィンドウを移動させても、ウィンドウの大きさは変わりません。



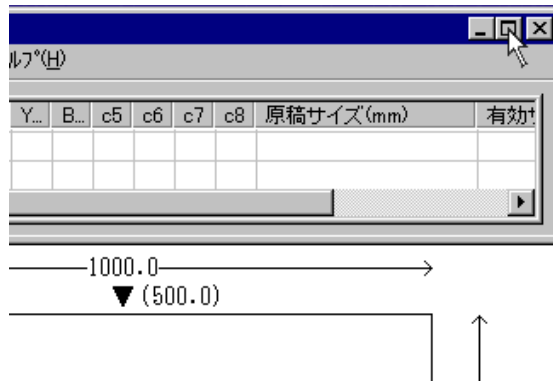
『ウィンドウを最小化する』

タイトルバーの右端にある3つの小さなボタンのうち、左端のボタンをクリックします。すると、ウィンドウはタスクバーに格納され見えなくなります。タスクバーに格納されたウィンドウのボタンをクリックするとふたたび現れます。



『ウィンドウのサイズを変更する』

タイトルバーの右端にある3つの小さなボタンのうち、真ん中のボタンをクリックすると、ウィンドウは画面いっぱいに表示されます。もう一度クリックすると元の大きさに戻ります。またすでに画面いっぱいに表示されている場合、このボタンは元のサイズに戻すボタンになります。



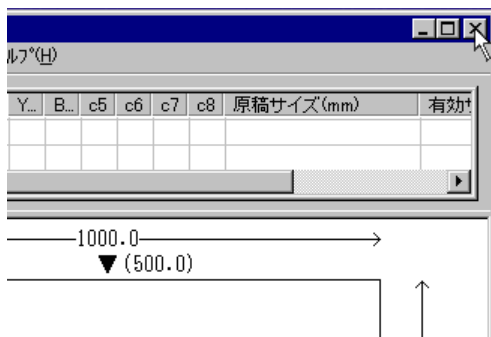
『ウィンドウを好きな大きさに変更する』

ウィンドウの枠の部分にマウスのポインタをあわせると、マウスポインタの形が変化します。この時にマウスをドラッグすると、ウィンドウの大きさが変わります。好きな大きさになったところで、マウスのボタンを離してください。



『アプリケーションソフトを終了する』

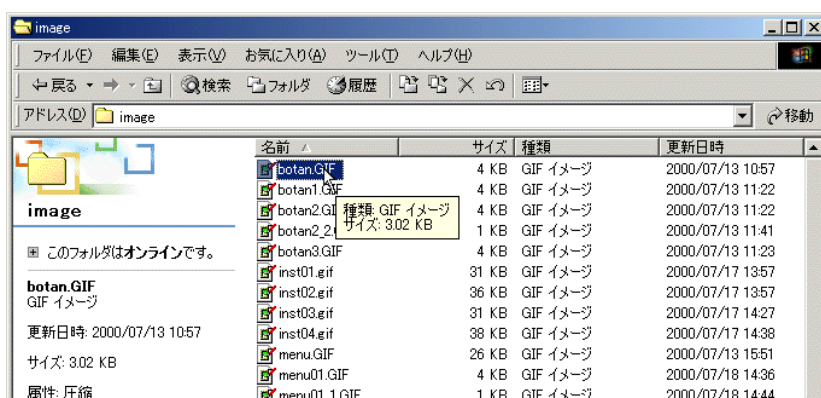
タイトルバーの右端に配置されているボタンの右側のボタンをクリックします。ウィンドウは消え、アプリケーションは終了したことになります。



3 - 3 . リスト操作

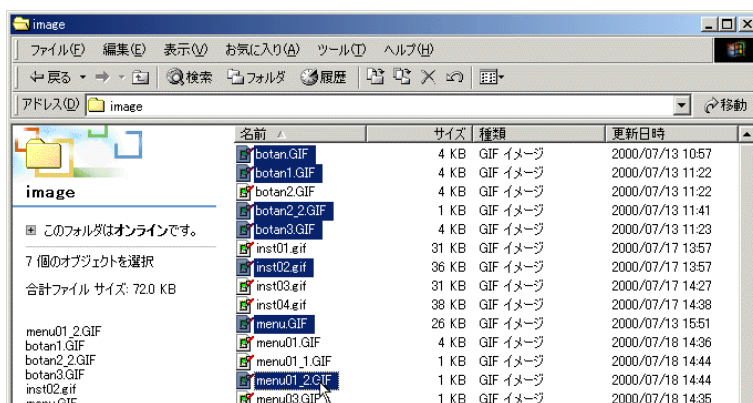
『リストの選択』

リストの一覧のウィンドウで選択したいファイルまたは項目にカーソルを合わせてクリックします。選択した項目の色が変われば、その項目を選択したことになります。



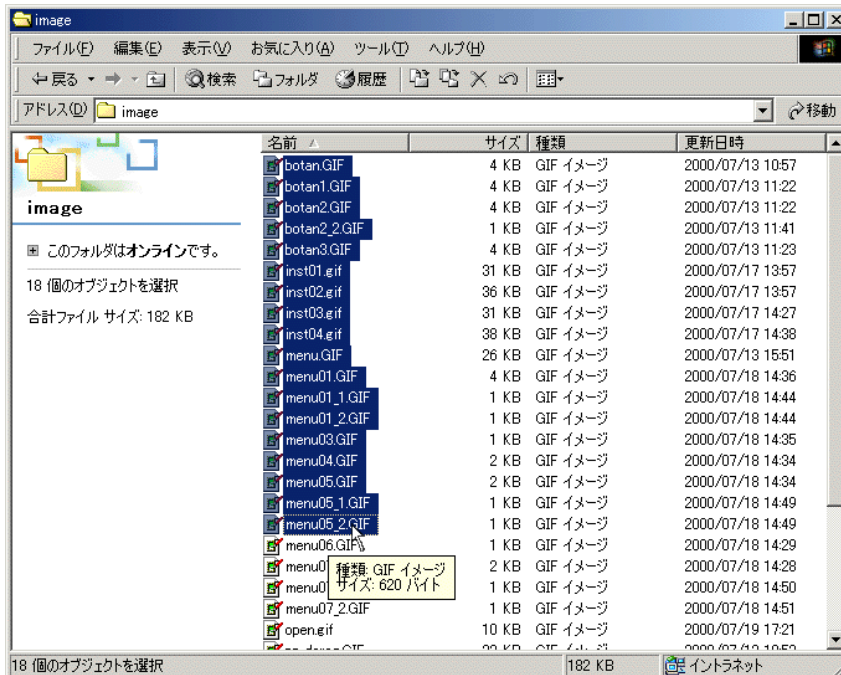
『リストの複数選択』

キーボードの Ctrl キーを押しながらリストを選択すると、複数のファイルまたは項目を選択することができます。



『リストの一括選択』

Shift キーを押しながら、ファイルまたは項目を選択すると、最初に選択されたファイルから、今、選択されたファイルまで一括で選択できます。最初に選択を行っていないときは、リストの最初からの選択になります。



『すべてのリストを選択』

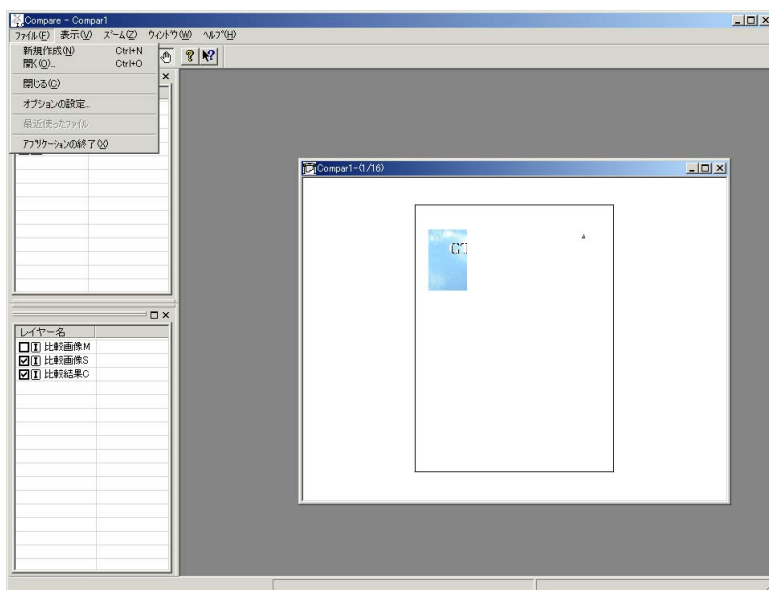
メニューバーの「編集」-「すべてを選択」を選択するとすべての項目を選択することができます。Ctrl キーと「A」を同時に押しても同等の効果が得られます。

3 - 4 . メニュー操作

タイトルバーの下の「ファイル」、「編集」などの項目一覧を「メニュー」と呼びます。右クリックなどでもメニューの選択は可能です。メニューバーには選択できうる全てのメニューがあります。

『メニューの選択』

行う作業項目をクリックすると、その項目のさらに細かな作業のメニューが降りてきます。降りてきたメニューの作業項目をクリックするだけです。



第二章

操作説明

CIP3Generator のオペレーション

CIP3Generator のオペレーション

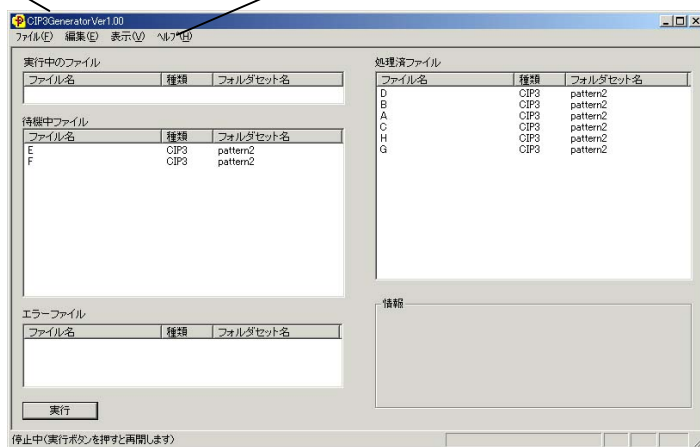
「Cip3Generator.exe」のアイコンをダブルクリックしますと Cip3Generator が起動し、基本画面が表示されます。

基本画面は、現在の処理状況を表します。各種設定を完了させ「実行」ボタンをクリックすればフォルダセット毎の入力フォルダ監視が始まり、網点画像が入力フォルダに移され、指定版が揃うと PPF ファイルを作成します。

1. 基本画面

プログラムタイトルバー

メニューバー



『プログラムタイトルバー』

ウィンドウやダイアログボックスの名前が表示されるバー

『メニューバー』

メニュー名が表示されるバー

【実行中のファイル】

現在処理されている網点画像ファイル名とそのフォルダセット名が表示されます。

【待機中のファイル】

入力フォルダに入っているファイルのうち未処理のものが表示されます。表示されているファイル名をクリックすると入力フォルダ、出力フォルダ、処理済ファイルの移動先などが「情報」枠に表示されます。

【処理済ファイル】

入力フォルダに入っていたファイルのうち、プレビュー作成処理の終了したファイルが表示されます。表示されているファイル名をクリックすると入力フォルダ、出力フォルダ、処理済ファイルの移動先などが「情報」枠に表示されます。

【エラーファイル】

何らかの原因で処理ができなかったものが表示されます。表示されているファイル名をクリックするとエラー原因の簡単な説明が「情報」枠に表示されます。

【一時停止・実行ボタン】

フォルダのチェックを一時的に停止させたり、再び実行させたりできます。

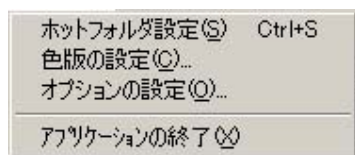
【情報（枠）】

リストのひとつをクリックして選択すると、関連の情報が表示されます。

2 . メニュー構成

基本画面のメニューバーをクリックし、メニューを選択すれば個々の設定や確認ができます。

2 - 1 . ファイルメニュー



1) ホットフォルダ設定

フォルダセットの設定をします。

2) 色版の設定

使用版及び各版の名称規則の設定をします。

3) オプションの設定

作業ベースフォルダの設定をします。

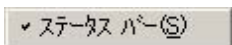
4) アプリケーションの終了

このアプリケーションを終了します。

2 - 2 . 編集メニュー

現在は使用できません。

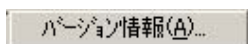
2 - 3 . 表示メニュー



1) ステータスバー

基本画面下部のステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。

2 - 4 . ヘルプメニュー



1) バージョン情報

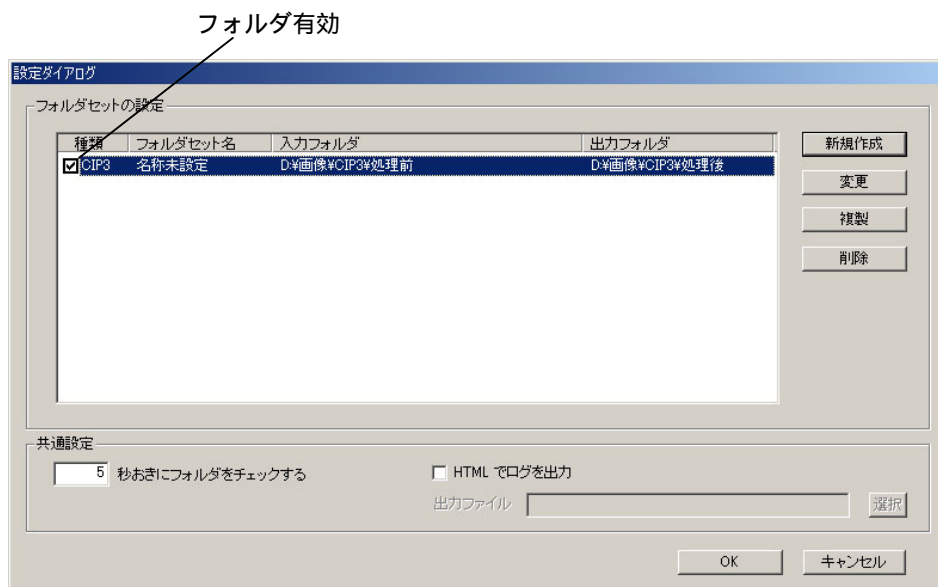
CIP3Generator のバージョン情報が表示されます。

3 . ダイアログ

3 - 1 . ホットフォルダ設定

3 - 1 - 1 . 設定ダイアログ

基本画面の「ファイルメニュー」から「ホットフォルダ設定」を選択すると、「設定ダイアログ」が表示され、フォルダセットの登録などの設定を行えます。設定が完了すれば「OK」、設定を無効にする場合は「キャンセル」をクリックします。



【フォルダセットのリスト】

現在設定されているフォルダセットが一覧表示されます。任意のフォルダセットをダブルクリックすると「ホットフォルダの設定」ダイアログが開かれます。

各フォルダセットの左端に「フォルダ有効」チェックボックスがあり、チェックをした場合だけ有効なフォルダセットとなります。

【新規作成（ボタン）】

新しいフォルダセットが作成され、「ホットフォルダの設定」ダイアログが開かれます。

【変更（ボタン）】

選択されているフォルダセットについての「ホットフォルダの設定」ダイアログが開かれます。

【削除（ボタン）】

選択されているフォルダセットを削除します。やり直しはできません。

【共通設定】

・ 秒おきにフォルダをチェックする

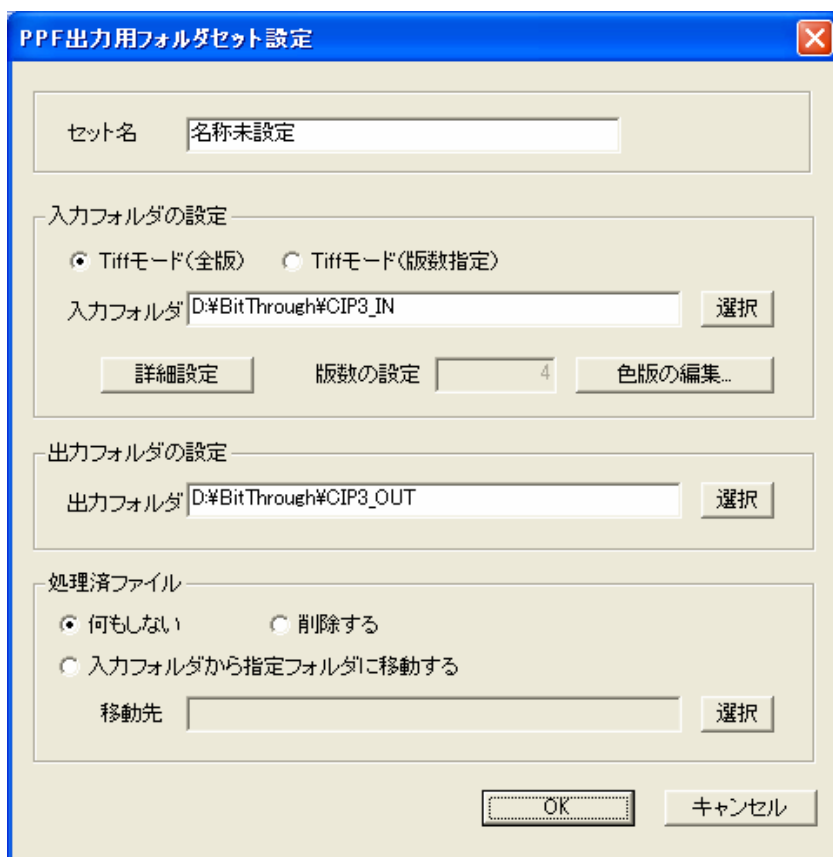
入力フォルダをチェックする間隔を指定します。基本画面で「一時停止」されたとき以外はこのタイミングでフォルダがチェックされます。

・ HTML でログ出力

ログファイルを HTML で書き出し、WWW ブラウザでログの確認をできるようにします。詳しい解説は「HTML によるログファイルの出力」のところをご覧ください。

3 - 1 - 2 . ホットフォルダの設定

ドットゲイン補正を行うホットフォルダのセットを作成できます。



3 - 1 - 2 - 1 . セット名

【セット名】

フォルダセットの名称を自由に設定できます。版数や、印刷機などの名前を設定しておくこともできます。

3 - 1 - 2 - 2 . 入力フォルダの設定

【Tiff モード（全版）】

色版の編集で設定された有効版の 1Bit Tiff が全て揃ったら動作を開始します。例えば Cyan, Magenta, Yellow, Black 及び特赤が設定されていたとき、ベース名が同一で色版名称が添付されたファイルが 5 つ揃うと処理を開始します。

【Tiff モード（版数指定）】

色版の編集で設定された有効版のうち、「版数の設定」で指定された版数の 1Bit Tiff ファイルが揃った時点で動作を開始します。例えば版数設定が 2 版と設定されていると上記 Cyan, Magenta, Yellow, Black 及び特赤のうちベース名が同じファイルが 2 ファイル揃うと処理を開始します。

【入力フォルダ】

自動監視するホットフォルダ名を入力します。「選択」ボタンをクリックして、フォルダ選択ダイアログによって入力フォルダを選択することもできます。あらかじめ入力フォルダを用意していない場合は、フォルダ選択ダイアログの新規作成ボタンを押すことにより、新しくフォルダを作成すると同時に、入力フォルダとして指定することができます。

「入力フォルダ」に Tiff モードと色版の編集で定められたファイルが入れば自動的にドットゲイン補正を開始します。

【色版の編集...】

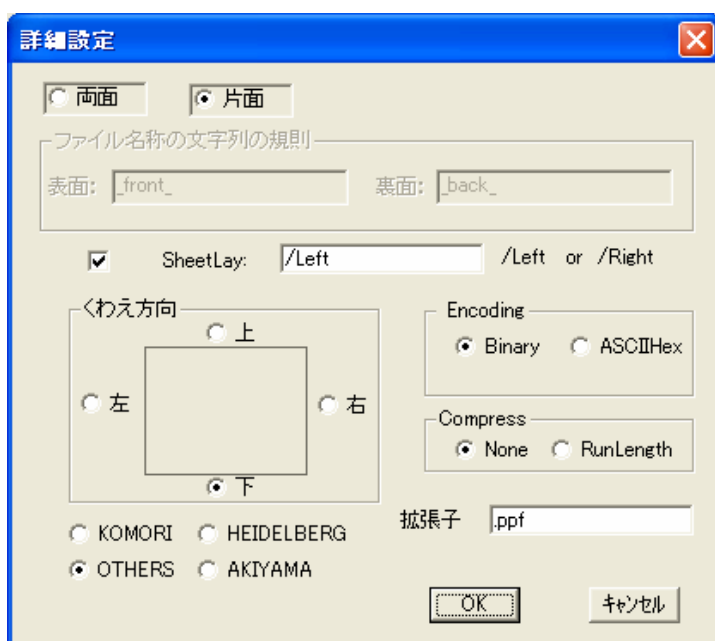


色版数と版名の名称規則の設定をします。詳しい説明は後述する「色版の設定ダイアログ」を参照して下さい。

【版数の設定】

Tiff モード（版数指定）を選択時に有効になります。印刷で使用する色数を指定します。Tiff モード（版数指定）をご覧ください。

【詳細設定（ボタン）】



[両面]および[片面]

印刷機のタイプによって使い分けてください。印刷胴が並列に並んで表裏を印刷するタイプの印刷機では両面を指定してください。

[ファイル名称の文字列の規則]

両面指定時に各面のファイルに使用される版名の直前に記述される識別文字列を登録します。

[SheetLay]

カッティングに対するパラメータです。今バージョンではサポートしておりませんので、デフォルトのままでご使用ください。

[くわえ方向]

入力された 1 Bit Tiff のくわえの方向です。CTP 出力用に回転された 1 Bit Tiff が入力されるときはその画像のくわえがどちらにあるかを選択してください。

[Encoding]

インキ情報画像の記述方法をバイナリーで記述するか ASCII コードで記述するかを指定します。コンバータが受け取れるようでしたら Binary をお勧めします。

[Compress]

インキ情報画像の圧縮を指定します。None は非圧縮、RunLength はランレングス圧縮を採用します。

[拡張子]

出力ファイルの拡張子の指定です。まれに CIP3 という拡張子で受け取るコンバータが存在します。

[印刷機メーカー]

PPF ファイルを受け渡すコンバータのメーカーを指定してください。上記に無いメーカーでは ' OTHERS ' を選択してください。

3 - 1 - 2 - 3 . 出力の設定

【出力フォルダ】

出力フォルダはドットゲイン補正済画像を保存するフォルダです。設定方法は入力フォルダと同じです。

3 - 1 - 2 - 4 . 処理済ファイル

処理済入力ファイルの処理を設定します。

処理は

何もしない

ファイルは入力フォルダに保存されます。

削除する

ファイルは削除されます。

入力フォルダから指定フォルダに移動する

ファイルは以下の移動先で指定されたフォルダに移動されます。

が選べます。

【移動先】

処理済入力ファイルを移動するフォルダです。設定方法は入力フォルダと同じです。

3 - 2 . 色版の設定

基本画面の「ファイルメニュー」から「色版の設定」を選択すると、使用版の登録などの設定を行う「色版の設定ダイアログ」が表示されます



- ・色版名

色版の名称とカラーイメージアイコンを表示します。

この名称はカラーパレットのリスト等の項目表示に使用します。

- ・参照名

色版の参照名を表示します。

監視フォルダのファイルが対象原稿の色版かどうかを判断します。

- ・Cyan

カラー表示用の Cyan 要素の値 (0 ~ 2 5 5) を表示します。

- ・Magenta

カラー表示用の Magenta 要素の値 (0 ~ 2 5 5) を表示します。

- ・ Yellow

カラー表示用の Yellow 要素の値 (0 ~ 2 5 5) を表示します。

- ・ Black

カラー表示用の Black 要素の値 (0 ~ 2 5 5) を表示します。

【色版の追加ボタン】

システム設定の色版既定値に新たな色版を追加するため、以下のダイアログが表示されます。



- ・ 色版名

色版名を表示します。変更する場合は新たな名称を入力します。

この名称はユーザー自身が色版を識別するための名称で、カラーパレットのリスト等の項目表示に使用します。

- ・ 参照名

色版の参照名を表示します。変更する場合は新たな名称を入力します。この名称は原稿の色版を識別するための名称で、原稿の登録時に網点 (色版) ファイルと色版を対応付けし、刷版の出力時のファイル名に使用します。

色版の参照名では、大文字、小文字の区別はしていません。

重要：RIP によって網点（色版）ファイルの名称に付加される色名を入力してください。

・Cyan

カラー表示用の Cyan 要素の値（0～255）を表示します。
変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

・Magenta

カラー表示用の Magenta 要素の値（0～255）を表示します。
変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

・Yellow

カラー表示用の Yellow 要素の値（0～255）を表示します。
変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

・Black

カラー表示用の Black 要素の値（0～255）を表示します。
変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

・カラーイメージ

「Cyan」、「Magenta」、「Yellow」、「Black」で設定している値からカラーのイメージをリアルタイムに表示します。

・OK ボタン

設定を確定してダイアログを終了します。

・キャンセル ボタン

何もせずにダイアログを終了します。

【色版の設定】

システム設定色版既定値に登録している各色版を設定します。

【色版の削除】

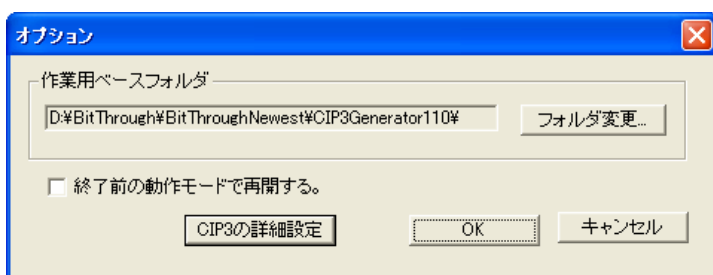
システム設定の色版既定値から色版を削除します。

【登録の初期化】

システム設定の色版既定値の登録を初期状態に戻します。

3 - 3 . オプションの設定

基本画面の「ファイルメニュー」から「オプションの設定」を選択すると、使用版の登録などの設定を行う「オプションの設定ダイアログ」が表示されます。



[作業ベースフォルダ]

CIP3Generator が作業するワークフォルダを指定できます。特別に高速なハードディスク等を増設している PC をお使いの時にはそのディスク内のフォルダを指定してください。

[終了前のモードで再開する]

この設定が ON になっていると CIP3Generator を起動したとき、前回終了時に実行ボタンが ON で終了していれば直ちに実行を再開します。設定が OFF のときは常に一時停止状態で起動します。

[CIP3 の詳細設定]

3 - 1 - 2 - 2 ホットフォルダの設定 - 入力フォルダの設定 - 【詳細設定 (ボタン)】と同様です。ここで設定した内容は新規にホットフォルダを作成したときのデフォルト値となります。

4 . HTML によるログファイルの出力

CIP3Generator の処理状況をクライアントマシンの WWW ブラウザ (Internet Explorer、Netscape など) から見ることができます。

設定方法

- 1、CIP3Generator の「設定ダイアログ」でログの出力先を指定します。クライアントマシンからログを見るためには共有されたフォルダを指定します。OK ボタンを押した段階でログファイルが生成されます。
- 2、クライアントマシンの WWW ブラウザを起動し、生成されたログファイルをドラッグします (または、WWW ブラウザのメニューからファイルを指定します)。
- 3、今後 2 の処理をしなくてすむように、WWW ブラウザの「お気に入り」に登録します。(Netscape の場合はブックマークに登録)

5 . トラブルシューティング

入力フォルダに入れたのに、動作しない。

設定が正しいのにドットゲイン補正が開始されない場合は、CIP3Generator とおなじフォルダにある「HfJoblist.def」というファイルを削除してみてください。これにより、これまでに実行したファイルの情報が消されるので、入力フォルダにある全てのファイルを処理に行きます。